

令和7年度 自己点検・自己評価/学校相互評価結果

◎近畿グループ附属看護学校4校での学校相互評価を実施した。

評価は、他校の副学校長1名、教育主事1名、教員2名による書類審査及び当校の教員へのヒアリングと意見交換を実施。

◎学校相互評価において、毎年、カリキュラムや学校運営について評価を行い、課題を明確化したうえで改善に向けた取り組みを着実に進めている点を評価された。そのことが、教員主体のプロジェクト活動として継続的に実践されていることも強みである。また、学生確保についても積極的に対策を実施している点が評価された。課題となった点は、上記に示す有効な取り組みを研究活動として整理し、発表することで、他校においても活用可能な知見として共有することであった。

◎自己評価、他者評価を通して明らかになった課題に次年度も取り組み、研究活動を強化し、管理的視点を持って学校の成長と存続にむけて取り組みたい。

【評価指標】 3:十分満たしている 2:満たしている 1:改善の余地がある 0:改善すべきである

カテゴリー	評価の概要	令和7年度		令和6年度	
		自己評価	近畿グループ 附属看護学校 相互評価	自己評価	近畿グループ 附属看護学校 相互評価
I 教育理念・目的	学校の教育理念・教育目的は明文化され、教職員および学生に浸透し、卒業時点での学生像に反映されているか。(6項目)	3.0	3.0	3.0	3.0
II 教育目標	教育理念・目的・教育目標の一貫性および卒業後教育との継続性を考慮した目標設定であり、教員・学生が共有できているか。(6項目)	3.0	3.0	2.8	3.0
III 教育課程	教育課程の編成について独自性、整合性、ニーズへの対応などの観点から科目が挙げられているか、講義・実習の内容に妥当性があり、教育の質向上のために工夫し、計画的に進められているのか。(26項目)	3.0	3.0	3.0	3.0
IV 教育課程評価	自己および学生による授業評価の実施と改善の取り組み状況について。(6項目)	3.0	3.0	2.5	2.7
V 学校組織	学校の組織体制について人員配置および意思決定システムが適性であるか。(9項目)	2.9	2.9	2.9	3.0
VI 入学生の受入れ	自校の教育理念に基づいた入学選抜試験の適正な運用と実施状況の分析、検証状況について。(5項目)	3.0	3.0	2.6	2.6
VII 学校生活支援	学生の生活支援体制について、健康管理、プライバシー保持、自治会活動、関係者との調整の観点から整備されているか。(15項目)	3.0	2.9	2.7	3.0
VIII 卒業生の進路 (卒業・就業・進学)	卒業時の到達状況、進路、国家試験の合格状況を分析し、教育活動に生かしているか。(7項目)	3.0	3.0	3.0	3.0
IX 教員の研究活動	教員の研究活動の実施状況および支援体制について。(4項目)	2.8	2.8	2.5	2.5
X 社会への貢献・公開講座 (地域交流・国際交流)	公開講座やボランティア等、地域社会のニーズを踏まえた社会貢献、近隣関連施設との情報交換等、地域との交流状況、また、国際的視野をふまえた教育体制について。(7項目)	2.6	2.7	2.6	2.9
XI 教育環境	施設設備などの学習環境の整備状況について。(7項目)	3.0	3.0	2.8	3.0
XII 学校経営・管理過程	教育活動について将来構想をもとに計画的に管理・運営しているかについて。(7項目)	2.6	2.9	2.6	2.6
XIII 学校評価システム	自己点検・自己評価システムの整備状況や運用について。(5項目)	3.0	3.0	2.4	2.8

